



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月5日

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社  
 コード番号 9776 URL <http://www.saturin.co.jp/>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桶谷 満

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 荘司 晃久

TEL 011-613-3210

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,426	3.5	267	179.1	271	152.7	179	172.9
2019年3月期第1四半期	4,277	2.3	95	65.5	107	62.7	65	65.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 173百万円 (181.5%) 2019年3月期第1四半期 61百万円 (67.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	52.56	
2019年3月期第1四半期	19.04	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	11,266	8,120	72.1	2,372.06
2019年3月期	10,677	7,981	74.7	2,331.49

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 8,120百万円 2019年3月期 7,981百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		10.00	10.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,436	0.0	347	9.1	357	8.2	232	12.3	67.84
通期	17,401	2.0	824	1.1	845	4.0	552	5.6	161.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	4,216,000 株	2019年3月期	4,216,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期1Q	792,698 株	2019年3月期	792,698 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	3,423,302 株	2019年3月期1Q	3,462,561 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による景気対策を背景に、緩やかな回復基調が続き、企業の景況感に底堅さが見られ、個人消費は持ち直しており、所得・雇用環境の改善が続いております。

一方で、米国の通商・外交政策をはじめ、中国等海外の不安定な政治動向や地政学的リスクの影響が懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社グループが拠点を構える北海道の経済におきましては、観光は来道者数が増加し、個人消費は持ち直しており、雇用情勢は着実に改善しております。

医療業界におきましては、2019年10月に診療報酬改定・薬価改定が予定されるなど、医療費抑制政策が続いており、業界を取り巻く経営環境はより一層厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、医療機関の多様化するニーズに応えた営業活動を展開し、新規顧客の獲得及び調剤薬局の新規出店による営業基盤の拡大に努めると共に、引き続き経費効率を重視した収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,426百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益267百万円（同179.1%増）、経常利益271百万円（同152.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益179百万円（同172.9%増）と増収増益になりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

## ① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、既存・新規顧客との取引が順調に推移したこと及び人材、設備への投資が一部繰延べられたことから、売上高1,516百万円（同0.4%増）、セグメント利益137百万円（同10.1%増）と増収増益になりました。

## ② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、継続的な技術料の改善への取り組みに加え、前期に開局した店舗及び既存の店舗が堅調に推移したことから、売上高2,695百万円（同6.0%増）、セグメント利益235百万円（同290.6%増）と増収増益になりました。

## ③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、福祉用具の販売・貸与が前年同期を上回りましたが、大型備品の販売が前年同期を下回ったことから売上高197百万円（同4.0%減）、セグメント損失3百万円（前年同期はセグメント利益1百万円）になりました。

## ④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守におきましては、売上高17百万円（前年同期比2.6%減）、セグメント利益11百万円（同13.5%減）になりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は5,767百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,994百万円減少（前連結会計年度末比25.7%減）いたしました。これは主に商品が139百万円増加しましたが、現金及び預金が2,222百万円減少したことによるものであります。固定資産は5,498百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,583百万円増加（同88.6%増）いたしました。これは主に建物及び構築物が13百万円、工具、器具及び備品が12百万円それぞれ減少しましたが、土地が2,600百万円、リース資産が21百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は11,266百万円となり、前連結会計年度末に比べ589百万円増加（同5.5%増）いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,867百万円となり、前連結会計年度末に比べ436百万円増加（同18.0%増）いたしました。これは主に未払法人税等が39百万円、賞与引当金が56百万円それぞれ減少しましたが、支払手形及び買掛金が473百万円、流動負債のその他が72百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は278百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円増加（同5.0%増）となりました。これは主に長期未払金が4百万円、役員退職慰労引当金が2百万円それぞれ減少しましたが、リース債務が19百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,146百万円となり、前連結会計年度末に比べ450百万円増加（同16.7%増）いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は8,120百万円となり、前連結会計年度末に比べ138百万円増加(同1.7%増)いたしました。これは主に剰余金の配当34百万円がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益179百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は72.1%となり、前連結会計年度末比2.6ポイント下回りました。

また、1株当たり純資産は2,372円06銭となり、前連結会計年度末比40円57銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、売上高、利益共に順調に推移していることから、2019年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

今後の業績への影響を見極めた上で、修正が必要と判断される場合には、お知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,477,997	2,255,100
受取手形及び売掛金	2,652,462	2,730,570
商品及び製品	525,110	664,565
仕掛品	8,128	8,149
原材料及び貯蔵品	53,651	55,555
その他	76,917	86,080
貸倒引当金	△32,121	△32,356
流動資産合計	7,762,145	5,767,665
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,192,998	2,192,906
減価償却累計額	△1,327,919	△1,341,444
建物及び構築物(純額)	865,079	851,461
機械装置及び運搬具	39,412	40,084
減価償却累計額	△32,077	△32,846
機械装置及び運搬具(純額)	7,334	7,237
工具、器具及び備品	2,632,371	2,636,431
減価償却累計額	△2,346,918	△2,363,086
工具、器具及び備品(純額)	285,453	273,345
土地	916,894	3,516,894
リース資産	65,093	90,174
減価償却累計額	△30,949	△34,810
リース資産(純額)	34,144	55,364
有形固定資産合計	2,108,906	4,704,304
無形固定資産		
その他	53,566	48,145
無形固定資産合計	53,566	48,145
投資その他の資産		
投資有価証券	164,513	156,052
長期貸付金	353	316
長期前払費用	30,071	29,044
差入保証金	257,326	255,107
繰延税金資産	169,467	171,142
その他	148,279	151,866
貸倒引当金	△17,091	△17,091
投資その他の資産合計	752,921	746,438
固定資産合計	2,915,394	5,498,888
資産合計	10,677,540	11,266,553

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,864,733	2,338,416
リース債務	10,604	15,076
未払法人税等	145,825	106,023
賞与引当金	116,545	59,780
未払金	96,849	79,133
その他	196,404	269,266
流動負債合計	2,430,963	2,867,696
固定負債		
リース債務	28,112	47,565
役員退職慰労引当金	75,870	73,857
退職給付に係る負債	20,831	21,539
長期未払金	133,716	128,878
資産除去債務	2,000	2,000
その他	4,668	4,727
固定負債合計	265,199	278,567
負債合計	2,696,162	3,146,263
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	6,595,116	6,740,805
自己株式	△633,162	△633,162
株主資本合計	7,960,574	8,106,262
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,802	14,027
その他の包括利益累計額合計	20,802	14,027
純資産合計	7,981,377	8,120,290
負債純資産合計	10,677,540	11,266,553

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	4,277,255	4,426,700
売上原価	3,063,410	3,037,279
売上総利益	1,213,845	1,389,420
販売費及び一般管理費	1,118,103	1,122,224
営業利益	95,741	267,196
営業外収益		
受取利息	122	98
受取配当金	3,211	3,112
受取賃貸料	12,425	12,397
その他	9,251	2,594
営業外収益合計	25,011	18,202
営業外費用		
支払利息	255	356
賃貸収入原価	10,849	12,090
その他	2,155	1,323
営業外費用合計	13,259	13,771
経常利益	107,493	271,627
特別損失		
固定資産除却損	0	27
特別損失合計	0	27
税金等調整前四半期純利益	107,493	271,600
法人税等	41,552	91,678
四半期純利益	65,940	179,921
親会社株主に帰属する四半期純利益	65,940	179,921

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	65,940	179,921
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,437	△6,775
その他の包括利益合計	△4,437	△6,775
四半期包括利益	61,503	173,145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,503	173,145
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,510,731	2,542,927	205,575	4,259,234	18,021	4,277,255
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	155,042	155,042	310	155,353
計	1,510,731	2,542,927	360,618	4,414,277	18,331	4,432,608
セグメント利益	124,943	60,373	1,308	186,625	13,203	199,829

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	186,625
「その他」の区分の利益	13,203
セグメント間取引消去	△735
全社費用(注)	△103,351
四半期連結損益計算書の営業利益	95,741

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,516,567	2,695,255	197,318	4,409,141	17,558	4,426,700
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	166,209	166,209	148	166,357
計	1,516,567	2,695,255	363,527	4,575,350	17,707	4,593,057
セグメント利益又は損失 (△)	137,597	235,830	△3,019	370,408	11,421	381,829

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	370,408
「その他」の区分の利益	11,421
セグメント間取引消去	1,392
全社費用(注)	△116,025
四半期連結損益計算書の営業利益	267,196

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。